



北海道の運輸の動き



～月別データで示す北海道の運輸産業～

令和3年1月発表

概況

1. 旅客輸送

令和2年10月の鉄道の旅客数は、JR北海道で対前年同月比17.4%減、地下鉄で同16.3%減、路面電車で同15.5%減となったものの、いずれも前月より増加した。

令和2年9月のバスの旅客数は、乗合バスで対前年同月比25.0%減、貸切バスで同45.3%減となったものの、いずれも前月より増加した。
令和2年9月のハイヤー・タクシーの旅客数は、対前年同月比27.9%減となった。

2. 貨物輸送

令和2年10月のトラック(一般貨物)の輸送量は、対前年同月比2.0%増となり、4か月ぶりにプラスに転じた。
令和2年10月の港湾運送(内航)の輸送量は、対前年同月比9.1%増となり、2か月ぶりにプラスに転じた。

3. 観光

令和2年10月の道内延べ宿泊者数は、対前年同月比25.8%減となり、12か月連続でマイナスとなったものの、前月より増加した。

4. 車両数

令和2年11月の新車登録台数等の対前年同月比について、乗用自動車(普通・小型)は9.6%増、乗用自動車(軽)は21.0%増、貨物自動車は5.1%減、貨物自動車(軽)は30.9%増となった。

北海道運輸局

交通政策部 消費者行政・情報課

〒060-0042 札幌市中央区大通西10丁目

電話 011-290-2725

FAX 011-290-2716

<http://www.tb.mlit.go.jp/hokkaido/>

令和3年1月発表

1. 旅客輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR北海道	▲ 17.4	▲ 33.8	▲ 27.5
	地下鉄	▲ 16.3	▲ 23.6	▲ 25.8
	路面電車	▲ 15.5	▲ 27.0	▲ 35.8
	乗合バス	▲ 25.0	▲ 30.0	▲ 29.5
	貸切バス	▲ 45.3	▲ 61.3	▲ 69.0
	ハイヤー・タクシー	▲ 27.9	▲ 36.3	▲ 33.8
	内航フェリー	▲ 20.6	▲ 38.4	▲ 55.0
	外航フェリー	—	—	—
	国内線	▲ 44.5	▲ 59.4	▲ 65.5
	国際線	▲ 100.0	▲ 100.0	▲ 100.0

<凡例>

「当月」はR2.11	「当月」はR2.10	「当月」はR2.9

2. 貨物輸送

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	JR貨物	41.7	▲ 3.2	▲ 2.4
	特別積合	5.5	▲ 12.3	▲ 5.9
	一般貨物	2.0	▲ 1.6	▲ 2.3
	ターミナル	増減なし	▲ 5.8	▲ 4.5
	内航	9.1	▲ 1.2	4.7
	外航	▲ 19.3	▲ 27.0	▲ 27.4
	内航コンテナ	9.8	▲ 0.7	0.3
	外航コンテナ	▲ 13.4	▲ 17.7	1.7
	海峡	▲ 5.7	5.5	▲ 1.5
	中・長距離	▲ 6.0	▲ 2.3	1.9
	国内線	▲ 31.1	▲ 39.1	▲ 32.1
	国際線	▲ 8.6	▲ 42.3	▲ 43.5
	普通倉庫	4.0	▲ 10.2	16.6
	貯蔵槽倉庫	▲ 12.8	1.7	2.5
	冷蔵倉庫	▲ 10.5	▲ 16.2	▲ 15.1

3. 観光

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	延べ宿泊者数	▲ 25.8	▲ 38.1	▲ 50.0

4. 車両数

		対前年同月比(%)		
		当月	先月	先々月
	新規登録(乗用)	9.6	31.6	▲ 19.8
	新規届出(軽自動車)	21.0	36.1	▲ 11.8
	新規登録(貨物)	▲ 5.1	1.6	▲ 9.1
	新規届出(軽自動車)	30.9	12.7	▲ 18.1

※ 詳細は「モード別実績」とおり

※ 営業倉庫については、四半期末の集計
今月掲載データは令和2年度第2四半期(令和2年7月～9月)分

目 次

I. 概況	1p	III. 貨物輸送		IV. 観光	
II. 旅客輸送		1. 鉄道	9p	1. 延べ宿泊者数	17p
1. 鉄道		2. 自動車		V. 車両数	
・JR北海道、北海道新幹線、民鉄	2p	・特別積合	10p	1. 旅客自動車	
・地下鉄	3p	・一般貨物	10p	・保有台数	18p
・路面電車	3p	・ターミナル	10p	・新規登録(乗用)	18p
2. 自動車		3. 港湾運送		・新規届出(軽自動車)	18p
・乗合バス	4p	・内航、外航	11p	2. 貨物自動車	
・貸切バス	4p	・内航、外航コンテナ	12p	・保有台数	19p
・ハイヤー・タクシー	5p	4. 船舶		・新規登録(貨物)	19p
3. 船舶		・海峡	13p	・新規届出(軽自動車)	19p
・内航フェリー	6p	・中・長距離	13p		
・外航フェリー	6p	5. 航空			
4. 航空		・国内線	14p		
・国内線	7p	・国際線	15p		
・国際線	8p	6. 営業倉庫			
		・普通倉庫	16p		
		・貯蔵倉庫	16p		
		・冷蔵倉庫	16p		

I. 概況

1. 旅客輸送

	JR北海道	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比17.4%減となった。 このうち北海道新幹線の輸送人員は同16.4%減となった。
	地下鉄	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市営地下鉄における取扱い輸送人員は、対前年同月比16.3%減となった。 このうち、定期旅客は、同15.9%減、定期外旅客は、同16.5%減となった。
	路面電車	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比15.5%減となった。 このうち、札幌市は、同17.7%減、函館市は、同12.5%減となった。
	乗合バス	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比25.0%減となった。 このうち、定期旅客は、同14.1%減、定期外旅客は、同27.9%減となった。
	貸切バス	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比45.3%減となった。
	ハイヤー・タクシー	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比27.9%減となった。 このうち、札幌交通圏は、同30.1%減となった。
	内航フェリー	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送人員は、対前年同月比20.6%減となった。 このうち、道内相互間は、同5.9%減、道内一道外間は、同24.9%減となった。
	外航フェリー	<ul style="list-style-type: none"> 外航フェリーの運航実績は無かった。
	国内線	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内各空港における取扱い輸送人員は、対前年同月比44.5%減となった。 このうち、新千歳～東京(羽田)は、同45.2%減となった。
	国際線	<ul style="list-style-type: none"> 国際線の運航実績は無かった。

2. 貨物輸送

	JR貨物	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における取扱い輸送量は、対前年同月比41.7%増となった。
	特別積合	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要事業者(7社)における取扱い輸送量は、対前年同月比5.5%増となった。 宅配貨物取扱い個数は、同20.5%増となった。
	一般貨物	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要事業者(125社)における取扱い輸送量は、対前年同月比2.0%増となった。
	ターミナル	<ul style="list-style-type: none"> 北海道トラクターミナル(株)における取扱い輸送量は、前年並となった。
	内航	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比9.1%増となった。 このうち移出は、同6.8%増、移入は、同11.4%増となった。
	外航	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要港(7港)における取扱い輸送量は、対前年同月比19.3%減となった。 このうち、輸出は、同5.2%減、輸入は、同22.3%減となった。

	内航コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比9.8%増となった。
	外航コンテナ	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要港(7港)における取扱い実入りコンテナ輸送量は、対前年同月比13.4%減となった。
	海峡	<ul style="list-style-type: none"> 海峡航路における取扱い輸送量は、対前年同月比5.7%減となった。 このうち、下りは、同8.1%減、上りは同3.2%減となった。
	中・長距離	<ul style="list-style-type: none"> 中・長距離航路における取扱い輸送量は、対前年同月比6.0%減となった。 このうち、下りは、同4.6%減、上りは同7.5%減となった。
	国内線	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内各空港における取扱い輸送量は、対前年同月比31.1%減となった。 このうち、新千歳～東京(羽田)は、同27.1%減となった。
	国際線	<ul style="list-style-type: none"> 新千歳空港における取扱い輸送量は、対前年同月比8.6%減となった。 このうち、定期便及びチャーター便は、同11.3%減、保税運送物は、同34.5%増となった。
	普通倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市所在主要事業者(19社)における入庫高は、対前年同月比4.0%増、保管高は、同1.1%減、当期末の利用率は、81.6%となった。
	貯蔵槽倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内主要事業者(20社)における入庫高は、対前年同月比12.8%減、保管高は、同2.8%減、当期末の利用率は、72.6%となった。
	冷蔵倉庫	<ul style="list-style-type: none"> 札幌市所在主要事業者(23社)における入庫高は、対前年同月比10.5%減、保管高は、同5.2%減、当期末の利用率は、29.1%となった。

3. 観光

	延べ宿泊者数	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における延べ宿泊者数は、対前年同月比25.8%減となった。 このうち、日本人は、同11.7%減、外国人は同98.2%減となった。
---	--------	---

4. 車両数

	新規登録(乗用)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における登録台数は、対前年同月比9.6%増となった。 北海道内における自動車保有台数(普通・小型車)は、同0.8%減となった。
	新規届出(軽自動車)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における届出台数は、対前年同月比21.0%増となった。
	新規登録(貨物)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における登録台数は、対前年同月比5.1%減となった。 北海道内における自動車保有台数(普通・小型・被牽引車)は、同0.7%増となった。
	新規届出(軽自動車)	<ul style="list-style-type: none"> 北海道内における届出台数は、対前年同月比30.9%増となった。

< 凡例 >

R2.11	R2.10	R2.9
-------	-------	------